

平成24年3月期

## 少額短期保険募集人試験問題正解

特定非営利活動法人  
少額短期保険募集人研修機構

設 問	ア		イ		ウ	
	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答	解答 番号	解 答
問題1	1	1	2	1	3	2
問題2	4	2	5	3		
問題3	6	1	7	2		
問題4	8	2	9	2	10	1
問題5	11	1	12	1		
問題6	13	5	14	1	15	4
問題7	16	1	17	2	18	1
問題8	19	2	20	1		
問題9	21	4	22	2		
問題10	23	1	24	1	25	2
問題11	26	1	27	2	28	2
問題12	29	2	30	1	31	1
問題13	32	1	33	2	34	1
問題14	35	4	36	5	37	1
問題15	38	1	39	1	40	2
問題16	41	2	42	2		
問題17	43	1	44	2		
問題18	45	2	46	1		
問題19	47	2	48	1		
問題20	49	2	50	1		

配点：各2点

平成24年3月期

## 少額短期保険募集人試験問題用紙

### 注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないで下さい。
2. 試験用紙は問題用紙と解答用紙から成っています。
3. 解答は、解答用紙に記載された注意事項に従って、すべて解答用紙に記入（マーク：必ずHBまたはHBよりも濃い黒鉛筆もしくはシャープペンシルを使用）して下さい（問題用紙に書いたものは無効です。）。
4. 解答用紙には、所属少額短期保険事業者名・受験地区名・受験者姓名および受験番号を必ず記入して下さい（「受験票」の記載どおりに記入して下さい。）。また、受験番号をマークすることも忘れないで下さい。
5. 試験の解答時間は、正味60分です。
6. 試験時間中の私語は厳禁とします。
7. 資料（電卓等を含みます。）の持込み・使用は、いっさい認められません。
8. 試験時間中は、携帯電話等の使用はいっさい認められません。あらかじめ電源を切っておいて下さい。
9. 解答用紙は必ず提出し、いかなる場合も持ち帰らないで下さい（問題用紙は持ち帰っても構いません。）。
10. 試験時間中は、「受験票」を机の上の見やすいところに出しておいて下さい。また、運転免許証やパスポートなどの「本人確認書類」も一緒に出しておいて下さい。  
なお、試験終了後、「受験票」は各自持ち帰り、所属少額短期保険事業者の指示に従って処分して下さい。

本試験における出題は、「少額短期保険募集人教育テキスト」【平成23年4月版】の記載内容に基づいています。

特定非営利活動法人  
少額短期保険募集人研修機構

## 【保険の基礎知識】

### (問題 1)

保険のしくみと役割に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  ~  )

ア. 事故によって損失が発生した場合、経済的復旧を図る方法として、「貯蓄」と「保険」がありますが、保険には、保険を付けた直後に事故が発生しても損失が保障(補償)されるという利点があります。

イ. 個々の保険契約でみれば、保険料と保険金のバランスは保たれていないが、保険制度では、保険契約全体で収支バランスが保たれるようになっており、これを「収支相等の原則」といいます。

ウ. 保険契約は、保険募集人が保険契約者に代わって契約を申し込み、保険業者が契約の引受けを承諾することによって成立します。

### (問題 2)

次の文章の  に当てはまる最も適切なものを下記1.~4.から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  ・  )

社会保険は、保険に加入している多くの人々が保険料を拠出し損失を被った人に一定の給付を行うという保険技術を利用し、死亡・疾病・ケガ・ ・老齢などに対して一定の給付を行い、 または医療を保障する制度です。

1. 災害

2. 失業

3. 所得

4. 生死

## 【少額短期保険業】

### (問題 3)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  ・  )

- ア. 少額短期保険業とは、保険業のうち、保険期間が2年以内の政令で定める期間以内であって、保険金額が1,000万円を超えない範囲内において政令で定める金額以下の保険のみの引受けを行う事業をいいます。
- イ. 少額短期保険業を行う者は、内閣総理大臣に届出をする必要があります。

### (問題 4)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  ~  )

- ア. 少額短期保険業者は、1保険契約者について引受けするすべての保険の被保険者の総数が50人を超える保険の引受けを行ってはいけません。
- イ. 少額短期保険業者が販売する生命保険、傷害疾病保険および損害保険の保険期間には、いずれも1年間の上限が設けられています。
- ウ. 少額短期保険業では、生命保険会社や損害保険会社とは異なり、積立型の保険や個人年金保険を引受けすることはできません。

### (問題 5)

少額短期保険業に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  ・  )

- ア. 少額短期保険業では、保険金額、保険期間、取扱商品に一定の制限はありますが、生命保険、損害保険、傷害疾病保険のいずれも取扱うことができます。
- イ. 少額短期保険業者が引受けた保険契約は、「保険契約者保護機構」による保護の対象とはなりません。

## 【コンプライアンス】

### (問題 6)

次の文章の  に当てはまる最も適切なものを下記 1.～6. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  13 ~  15 )

少額短期保険募集人の基本的な役割は、少額短期保険業者のために保険契約締結の  ア.  13 を行い、さまざまな保険商品をお客様に販売することであり、お客様と少額短期保険業者のパイプ役となり、お客様をさまざまな危険から守るために  イ.  14 を行い、契約を締結するまたは契約の締結に尽力することは、最も重要な仕事のひとつです。

また、万一災害や事故、疾病等が発生した場合は、お客様に対して、迅速かつ円満な解決を援助するなど広範な  ウ.  15 が求められています。

- |               |            |              |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 最適な保険の提案   | 2. 販売活動    | 3. あっせんまたは調停 |
| 4. コンサルティング活動 | 5. 代理または媒介 | 6. 身辺調査      |

### (問題 7)

少額短期保険募集人に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  16 ~  18 )

- ア. 特定少額短期保険募集人とは、少額短期保険募集人のうち、損害保険や傷害疾病保険のみの募集を行う者で、少額短期保険業者の委託を受けた者でないものをいいます。  16
- イ. 少額短期保険業者の役員・使用人は、損害保険や傷害疾病保険のみの募集を行う場合にも、行政庁への登録を行うことが必要です。  17
- ウ. 少額短期保険募集人としての登録を申請しても、登録申請者が破産者で復権を得ないものである場合など、所定の登録拒否要件に該当するときには、登録を受けることができません。  18

### (問題 8)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号  19 ・  20 )

- ア. 保険契約者等に対して説明しなければならない「重要事項」には、保障（補償）内容や引受条件に関する事項は含まれていますが、クーリング・オフに関する事項は含まれていません。  19
- イ. 保険募集の際は、保険契約者に対して「少額短期保険業者の経営が破綻した場合、保険契約者保護機構の行う資金援助等の措置がないこと」、「少額短期保険が保険契約者保護機構の補償対象契約に該当しないこと」を記載した書面を交付し、説明を行い、書面を受領した旨の署名もしくは記名押印を得る必要があります。  20

(問題 9)

次の文章の [ ] に当てはまる最も適切なものを下記 1.～4. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [21] ・ [22] )

少額短期保険募集人は、事業活動に伴い事業者が被る損害をてん補する保険商品を販売する場合などを除いて、保険契約の販売・勧誘時に保険契約者等に対して、ア. [21] (契約概要・注意喚起情報) を必ず交付し、書面の内容を口頭で説明しなければなりません。重要事項の説明には十分に時間をかけ、保険契約者等が書面の内容を理解したか確認したうえで契約を締結する必要があります。

なお、電話・郵便・インターネット等の イ. [22] による情報提供や説明を行う場合にも、上記と同程度の情報提供や説明が必要です。

1. 対面方式

2. 非対面方式

3. 意向確認書面

4. 重要事項説明書

(問題 10)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [23] ～ [25] )

- ア. 保険募集にあたり、いつ解約しても払い込んだ保険料相当額を返還するとお客様に説明する行為は、禁止されています。 [23]
- イ. 保険募集の際、業務上の優位な地位を利用して、取引のある業者等に対して保険加入を強要する行為は禁止されています。 [24]
- ウ. 保険業法のルールに違反する行為は、違反の内容によっては行政処分を受けることがありますが、懲役・罰金といった司法処分を受けることはいっさいありません。 [25]

(問題 11)

少額短期保険募集人の募集行為に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の 1 の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の 2 の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [26] ～ [28] )

- ア. 保険契約の乗換(切換)にあたって、保険契約者等に不利益となる事実が発生することが予想されたので、保険契約者等に対して不利益となる内容を十分に説明し、納得していただいたうえで、既存の保険契約を解約してもらい、新たな保険契約の締結を行いました。 [26]
- イ. 保険募集にあたり、保険契約者の手もとに現金がなかったため、保険料を一時立て替えました。 [27]
- ウ. 特定の少額短期保険業者の支払能力が低く、信用力に問題があるという噂を取り上げ、同社との取引をやめた方がよいと保険契約者に勧めました。 [28]

(問題 12)

消費者契約法および金融商品販売法に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

(解答番号 29 ~ 31 )

- ア. 消費者契約法は、保険契約も対象としており、少額短期保険業者はこの法律でいう事業者には該当しますが、少額短期保険業者の委託を受けた者は事業者には該当しません。 29
- イ. 金融商品販売法の規定により、顧客は金融商品販売業者等が重要事項についての説明義務を怠ったこと、または断定的判断の提供等を行ったことだけを立証すれば、金融商品販売業者等に対して、当該金融商品の販売等によって生じた元本欠損額を損害額として請求できます。 30
- ウ. 金融商品販売法の規定により、金融商品販売業者等に該当する少額短期保険募集人は、勧誘方針を定め、公表しなければならず、また、策定・公表された勧誘方針を変更したときも、これを公表する必要があります。 31

(問題 13)

犯罪収益移転防止法および個人情報保護法に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

(解答番号 32 ~ 34 )

- ア. 犯罪収益移転防止法の規定による本人特定事項とは、個人顧客においては、氏名、住所、生年月日であり、法人顧客においては、法人の名称、本店または主たる事務所の所在地です。 32
- イ. 個人情報保護法の対象となる個人情報は、生存する個人に関する情報に限られるので、死者に関する情報は、いっさいこの法律の対象外となります。 33
- ウ. 個人情報のうち、保健医療等の機微（センシティブ）情報については、本人の同意に基づき業務上必要な範囲で取得、利用または第三者に提供する場合などを除いて、取得、利用または第三者提供を行うことは禁止されています。 34

(問題 14)

次の文章の [ ] に当てはまる最も適切なものを下記 1.～6. から選び、解答用紙の解答欄の該当する番号の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [35] ～ [37] )

保険契約者が負担する保険料は危険度に見合った公平なものでなければならぬため、保険契約を締結する際、保険契約者や被保険者には、ア. [35] で正確に事実を告知する イ. [36] が課せられています。

なお、保険契約者や被保険者が ウ. [37] によって、重要な事実を告知しなかったり、事実と異なることを告げた場合、少額短期保険業者はその保険契約を解除することができます。

1. 故意または重大な過失      2. 軽過失      3. 書面または口頭  
4. 定められた書面      5. 告知義務      6. 通知義務

(問題 15)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [38] ～ [40] )

ア. 保険契約者が保険契約（生命保険契約の場合は、死亡保険契約に限ります）の申込みまたはその承諾をした時において、保険契約者、被保険者または保険金受取人がすでに保険事故または給付事由が発生していることを知っていたときは、その保険契約は無効となります。 [38]

イ. 生命保険契約や傷害疾病定額保険契約では、提供する保険商品が保険契約者のニーズに合致していることを確認するため、保険契約を締結する前に意向確認書面を保険契約者に交付する必要があります。

[39]

ウ. 保険契約者から領収した保険料を他に流用する行為は、一時的であれば差し支えありません。 [40]

(問題 16)

少額短期保険募集人の日常業務に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。(解答番号 [41] ・ [42] )

ア. 保険期間の中途において、保険契約締結時の「告知事項」について変更（危険増加）が生じた場合、すでに保険契約は成立しているため、保険契約者等から変更内容を少額短期保険業者に通知する必要はいっさいありません。 [41]

イ. 保険契約者から解約の申し出があった場合は、できるだけ多くの時間をかけて解約理由の妥当性を追求し、募集人自身が納得するまでは、解約手続きを行ってはいけません。 [42]



## 【保険商品の概要】

### （問題 17）

生命保険商品に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号  ・  ）

- ア. 生命保険のうち、養老保険は、保障と貯蓄の両機能を兼ね備え、満期の場合も死亡の場合も同額の保険金が支払われる保険です。
- イ. 生命保険は、保険事故により、「死亡保険」、「生存保険」および「医療保険」の3つに分類され、また、保険金の額の決定方法により、「定額保険」および「変額保険」に分類されます。

### （問題 18）

傷害疾病定額保険に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号  ・  ）

- ア. 医療保険には、保険期間を年数で定める定期タイプや一生涯の医療保障をする終身タイプがありますが、満期年齢を定めるタイプはありません。
- イ. がん保険は、がんによる入院や手術に備える保険ですが、がんと診断されたときは、通常、診断給付金が支払われます。

## 【保険の周辺知識】

### （問題 19）

損害賠償責任に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。（解答番号  ・  ）

- ア. 債務者が、債権者との契約上の義務を果たさなかったことにより、債権者から損害賠償の請求を受けた場合、損害賠償責任を免れることはいっさいできません。
- イ. 加害者は、被害者側に過失がある場合には、その過失の程度に応じて実際の損害額を減額して賠償するので、賠償責任保険ではその減額後の損害賠償額が保険金として支払われます。

### （問題 20）

少額短期保険業を取り巻く業界に関する次の記載のうち、正しいものは解答用紙の解答欄の1の枠を、誤っているものは解答用紙の解答欄の2の枠を、それぞれ黒くぬりつぶして下さい。

（解答番号  ・  ）

- ア. 消費生活協同組合（生協）は、組合員の生活の文化的および経済的な改善・向上を図ることを目的として、農林水産省・各都道府県の監督のもと、組合員を対象に共済事業等を行っています。
- イ. こくみん共済は、全労済が取扱う代表的な共済商品の1つです。